



魚津市12月補正予算(案)について

歳入増対策としてふるさと寄附をはじめ財源の確保に努める一方で、本年度より実施している給料等の臨時的削減の予算への反映、繰越金を活用した財政調整基金への積立等を行います。

一般会計総事業費 282,361千円(H³⁰) 12月補正 569,751千円 Δ50.4%)
12月補正後の一般会計予算総額 18,069,799千円

1. 一般会計補正予算

(単位:千円)

既定額	補正額	合計	主な歳出項目	
17,787,438	282,361	18,069,799	人件費補正 (給与費削減、人勤、人事異動分)	△35,920
			財政調整基金積立	203,000
			障がい福祉サービス費等給付事業	60,000
			ふるさと寄附推進事業	38,655
			吉島市営住宅跡地測量分筆登記等	3,842
			鳥獣被害対策事業	3,081

2. 主な補正財源

(単位:千円)

歳入	補正額	主な対象事業等
国・県支出金	47,660	国県からの補助等 47,660 (障がい者自立支援給付費負担金、クマ対策推進事業補助金など)
寄附金	24,000	ふるさと寄附金 24,000
基金繰入	△275,157	財政調整基金 △50,000 公共施設整備基金 △239,812 地域づくり基金 14,655
繰越金	442,812	前年度繰越金(実質収支)
地方交付税等	43,046	普通交付税 42,380 雑入 666

◇令和元年度からの行財政改革の取組 その1

給料等の臨時的削減

本年度実施している給料等の臨時的削減の予算への反映

<令和元年度給料等の臨時的削減額>

給料等削減内容	市長	20%削減
	副市長	15%削減
	教育長	10%削減
	議員	5%削減
	職員	5~1%削減

給与改定率 平均0.11%
 勤勉手当 0.05月増

(単位:千円)

(単位:千円)

会計	削減額
一般	△ 41,425
国民健康保険	△ 447
後期高齢者医療	△ 162
介護保険	△ 844
水族館	△ 771
計	△ 43,649 ^①

人勸 影響額	その他 異動分等	合計 (補正額)
6,347	△842	△ 35,920
150	△10,011	△ 10,308
40	41	△ 81
184	△4,258	△ 4,918
124	△6,416	△ 7,063
6,845	△21,486	△ 58,290

この他企業会計職員・消防職員分(△7,502千円・・・^②)
 は、決算時に精算。

(参考)①+②=△51,151千円

◇令和元年度からの行財政改革の取組 その2

基金残高の回復

- 前年度からの繰越金 (H30年度実質収支) 882,623千円 (別紙参照) の1/2 (442,812千円) を活用※
 - 『公共施設整備基金』R元年度当初予算取崩(239,812千円)取り止め①
 - 『財政調整基金』に繰越金の一部203,000千円を積立②
- R元年度給料等の臨時的削減分を反映
 - 『財政調整基金』R元年度当初予算取崩(50,000千円)取り止め③

R1年度当初予算での見込み

(単位:千円)

基金名	H30年度末 残高	R元年度 取崩見込	R元年度 積立見込	R元年度末残高 見込み
公共施設整備基金	348,816	△ 239,812	141	109,145
財政調整基金	259,344	△ 50,000	260	209,604



R1年度12月補正予算での見込み

(単位:千円)

基金名	H30年度末 残高	R元年度 取崩見込	R元年度 積立見込	R元年度末残高 見込み
公共施設整備基金	348,816	① 0	141	348,957
財政調整基金	259,344	③ 0	② 203,260	462,604

R元年度当初予算で
財源不足のための基金繰入として予算計上していた
427百万円のうち290百万円 (①+③) の解消

財政健全化計画
R6年度目標10億円

決算の状況について

- ◎平成30年度の実質収支は、昨年度から3.3億円改善し8.8億円。
 ◎しかしながら、暖冬による除雪費の減(2.8億円)、基金の取崩し(4.3億円)が主な増加要因であり、これらを考慮すると、引き続き厳しい財政状況。

《決算の概要》

(単位：千円)

年度	①歳入	②歳出	③形式収支 (① - ②)	④繰越すべき 財 源	⑤実質収支 (③ - ④)	⑥単年度 収 支 (前年度実質収支 との差額)
H30	19,273,341	18,326,773	946,568	63,945	882,623	329,676
H29	18,497,282	17,802,135	695,147	142,200	552,947	395,873
H28	18,284,808	17,926,818	357,990	200,916	157,074	△ 206,241

(実質収支の主な増加要因等)

- ①除雪費用の減
 (②94.1億円⇒③01.3億円) +2.8億円
 ②個人市民税等市税の増 +1.4億円
 ③基金の取崩し 4.3億円

H30基金取崩し額	
財政調整基金	0
地域づくり基金	△96,248
社会福祉基金	△178,417
公共施設整備基金	△120,936
その他基金	△33,930
(合 計)	△429,531

(参考) 基金残高の推移

(単位：千円)

年度	基金残高
H30	1,328,191
H29	1,723,872
H28	2,323,960

◇魅力的なまちづくり

【拡充】ふるさと寄附推進事業

ふるさと納税を受け付けるWEBサイト数を1サイトから5サイトに増やしたこと、返礼品の品数を増やしたことで前年度に比べ寄附額が増加。

	寄附件数/金額				返礼品の品数
	10月末時点		年度計		
平成30年度	400件	7,832千円	930件	18,932千円	61品
令和元年度	977件	21,218千円	-	見込額(最大) 80,000千円	97品



予算状況

	現計予算 (9月補正後)	12月補正予算	計
寄附金 (基金積立)	56,000千円	24,000千円	80,000千円
返礼品・事務費等 (基金取崩)	28,072千円	14,655千円	42,727千円
	84,072千円	38,655千円	122,727千円

◇安全安心なまちづくり

【拡充】鳥獣被害対策事業

鳥獣による農作物等の被害の軽減及び市民の人身被害の防止のため、鳥獣の捕獲及び追い払い等を実施する。

○補正内容

イノシシ捕獲数が昨年度比で約1.4倍増加、クマ出没数が約8倍増加したことにより、捕獲や見回り活動、追い払い活動など鳥獣被害対策活動を拡充するもの。

- ・鳥獣被害対策業務委託(パトロール) 2,700千円
- ・鳥獣捕獲用餌代等 381千円

○実施主体 市(魚津市鳥獣被害対策実施隊)

魚津市の状況	H30年度	R元年度	
イノシシ捕獲数 (9月末)	185頭	255頭	1.4倍
熊出没数 (10月末)	3件	26件	8.2倍



【事業費】当初予算 6,180千円
 12月補正 3,081千円
 補正後予算 9,261千円

【補正財源】 県 300千円
 市 2,781千円

【担当】 農林水産課 23-1034

◇魅力的なまちづくり

【新規】吉島市営住宅跡地測量分筆登記等

市営住宅跡地の売却に向けた準備として、市道敷地の測量分筆登記の実施や、前回の不動産鑑定から2年余り経過していることから、改めて土地の不動産鑑定評価を行うことで、入札に向けた条件を整理します。

・市道吉島六郎丸線ほか測量分筆登記	2, 586千円
・土地の不動産鑑定評価業務ほか	1, 256千円



【事業費】 3, 842千円

【財源】 市負担 3, 842千円

【担当】 都市計画課 23-1026

◇教育環境充実・観光振興

【新規】魚津水族館LED照明器具賃貸借事業(債務負担)

館内照明をLED化することにより、館内照明環境をより快適にする一方で、電気料の削減に取り組むもの。

- 工事時期 3月上旬予定(休館日)
- 賃貸借期間 5年(R2年～R6年)※
- 賃貸借料 572千円×5年＝2,860千円
- 効果

蛍光灯49本、水銀灯17本をLED照明に交換することにより、消費電力料△70%(照明関係電気料70万円/年→20万円/年)



※リース期限終了後は、
無償で引き取り

【事業費】 R2～R6 2,860千円

【財源】 市負担 2,860千円

【担当】 魚津水族館 24-4100